

10. 施設群における専門研修コースについて

図2：ローテーション

| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|------------|---|---|---|---|---|---|--------|----|----|---------------------|---|---|
| 専攻医 1年目 | 埼玉協同病院 or 埼玉西協同病院 or 熊谷生協病院 | | | | | | | | | | | |
| | 内科 | | | | | | | | | | | |
| 専攻医 2年目 | 埼玉協同病院 or 埼玉西協同病院 or 熊谷生協病院 | | | | | | 埼玉協同病院 | | | 埼玉協同病院 or 熊谷生協病院 | | |
| | 総合診療Ⅱ | | | | | | 救急科 | | | 小児科 | | |
| 専攻医 3年目 | 秩父生協病院 or さいわい診療所 or 大井協同診療所 or おおみや診療所 or 川口診療所 or 明戸大塚医院 | | | | | | | | | | | |
| | 総合診療専門研修Ⅰ | | | | | | | | | | | |

- 研修内容は本人の希望と適性を考慮し、1年次～3年次を組み立てます。初期研修を埼玉協同病院以外で行っている場合には、研修開始を埼玉協同病院での内科研修とし、呼吸器内科・消化器内科・糖尿病科・循環器内科・腎臓科の指導医のもと、初期研修では学べなかった内科の専門的力量を深めます。病棟医療と併せ、病院の外来研修を週に1日、指導医と一緒に担当し急性期の内科外来や救急疾患にも継続的に関わることで救急内科疾患にも対応できる能力を身につけていきます。総合診療専門研修Ⅱではあらゆる症状、疾患を担当する総合内科病棟（埼玉協同病院）又は、地域救急医療・高齢者医療・緩和医療も学べる一般病棟（埼玉西協同病院または熊谷生協病院）での研修を行います。
- 小児科では健診、予防接種から外来、入院まで幅広く研修を行います。地域における common disease をできるかぎり多く経験すること、小児の急性期の外来→入院→退院までのマネジメントについても指導医からの指導を受けます。保育園健診など地域の小児施設との連携をしながら、健康な子どもへの関わり方についても学びます。
- 診療所又は小病院で行う総合診療専門研修Ⅰは12ヶ月間を必修としています。かかりつけ医としてその方が地域で安心して過ごしていけるための地域の資源の一つであることを意識した研修を行っています。
- 専攻医は様々な環境での医療を経験するために、2年次以降、週1回は固定した診療所・小病院での外来研修を行います。また、場面に応じて、初期研修医・医療系学生の指導にもあたり、教育・指導の技能を経験します。
- 研修期間の全期間を通し、医療生協班会、医療懇談会、患者指導、健康相談会にも取り組みます。
- 本研修PGの研修期間は3年間としていますが、修得が不十分な場合は修得できるまでの期間を延長することになります。